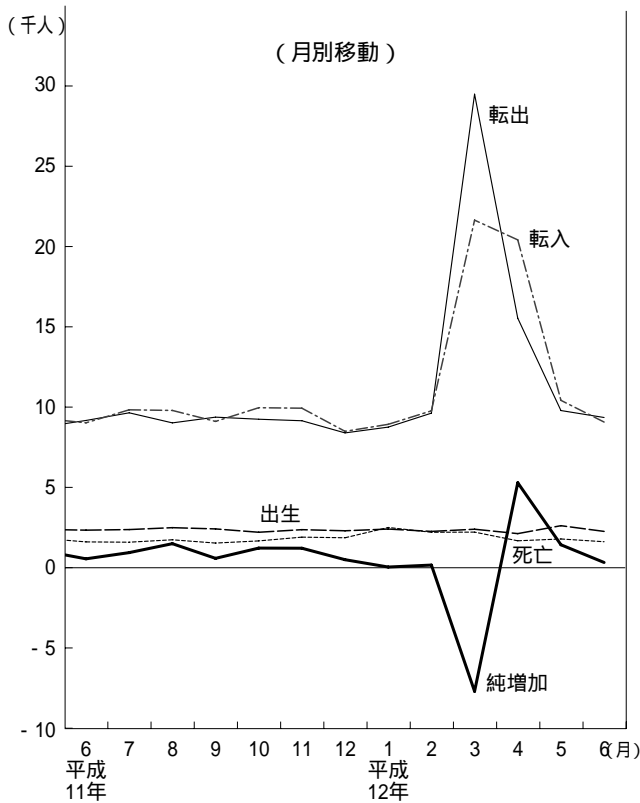


# 今月の主な動き

## 人 口



### 人口(12年7月1日)

#### 6月の概況

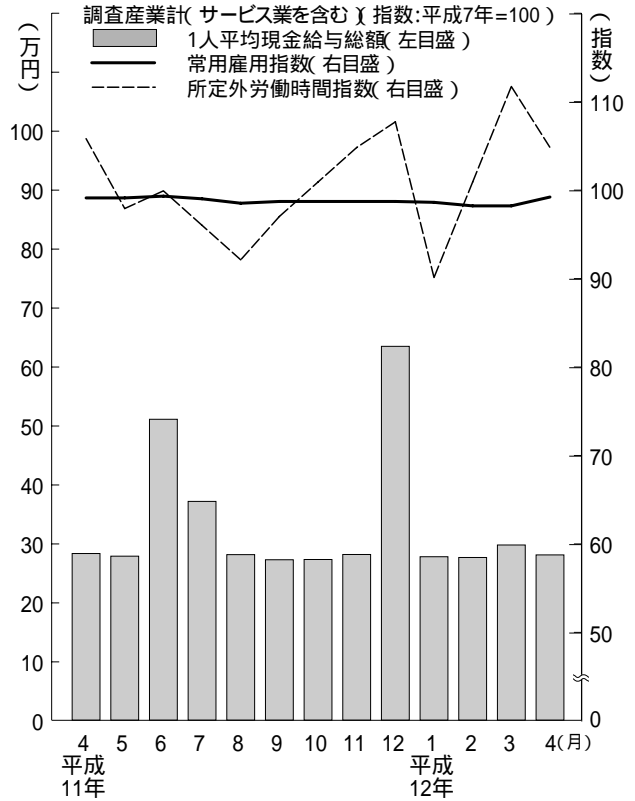
本県の人口は、6月中に359人増加し、7月1日現在で3,001,753人(男1,497,661人,女1,504,092人)となった。

内訳は、自然動態で、643人(出生2,294人,死亡1,651人)増加し、社会動態で、284人(転入9,104人,転出9,388人)減少した。前年同月と比べると5,905人(0.2%)の増加である。

市町村別では、増加が11市32町村,減少が8市32町村,増減なしが1市1町である。

世帯数についても6月中に724世帯増加し、997,825世帯となった。

## 賃金・労働時間・雇用



### 賃金・労働時間・雇用(12年4月)

#### 1. 平均賃金の推移

4月の現金給与総額は、調査産業計で、280,348円、対前年同月比0.9%減であった。現金給与総額のうち、きまって支給する給与は275,324円、対前年同月比0.7%減であった。特別に支払われた給与は5,024円であった。

#### 2. 労働時間

4月の総実労働時間は、調査産業計で、163.1時間、対前年同月比0.4%増であった。総実労働時間のうち、所定内労働時間は152.4時間、対前年同月比0.5%増であった。所定外労働時間は10.7時間、対前年同月比0.9%減であった。

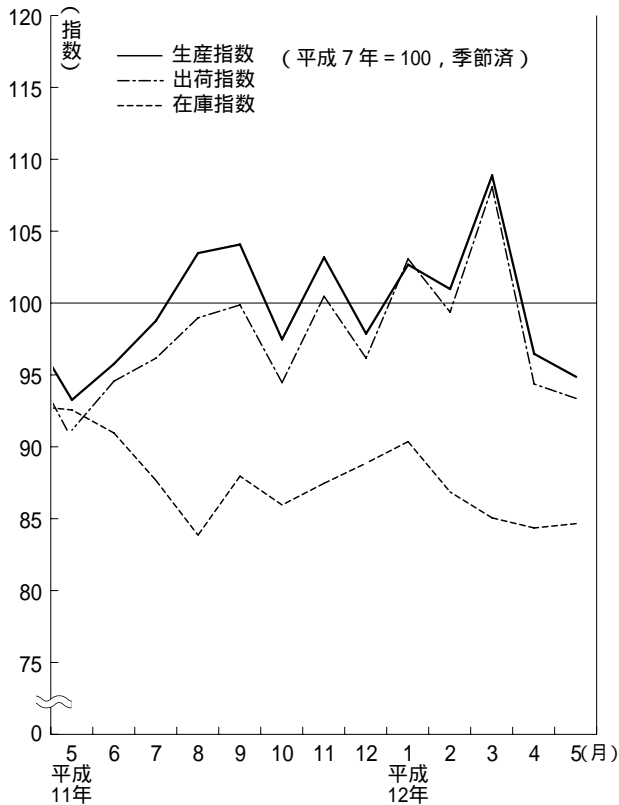
#### 3. 雇用の動き

4月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.1%増であった。

この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数 生産・出荷・在庫

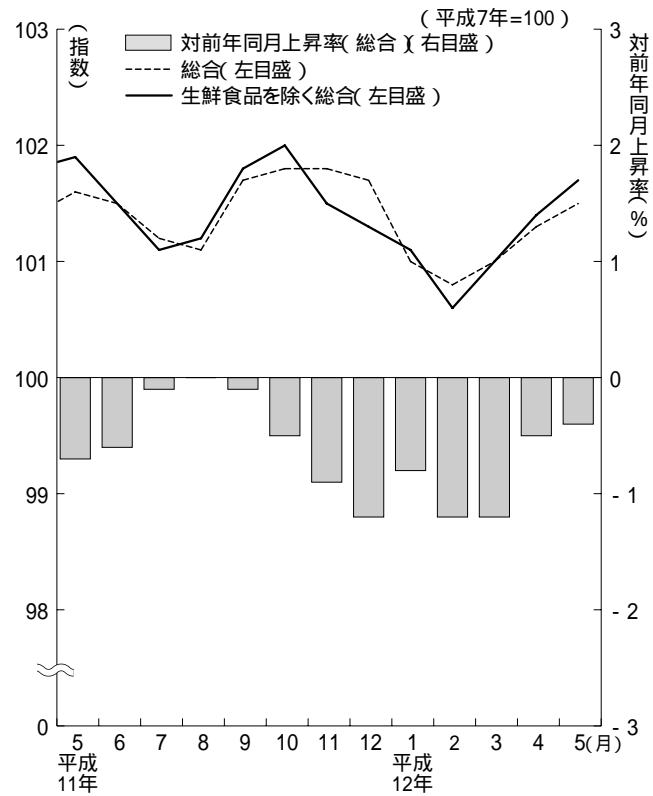


鉱工業指数 生産・出荷・在庫 (12年5月)

本県における平成12年5月の“鉱工業指数”(平成7年=100)は、季節調整済指数で生産が94.8、出荷が93.3、在庫が84.6であった。

- 1 生産の前月比は 1.7%の低下、前年同月比は1.7%の上昇であった。業種別に前月比をみると、精密機械工業、食料品・たばこ工業、輸送機械工業等が上昇し、化学工業、鉱業、窯業・土石製品工業等が低下した。財別にみると、その他用生産財、建設財等が上昇し、鉱工業用生産財、資本財が低下した。
- 2 出荷の前月比は 1.1%の低下、前年同月比は2.5%の上昇であった。業種別に前月比をみると、精密機械工業、食料品・たばこ工業、輸送機械工業等が上昇し、化学工業、プラスチック製品工業、一般機械工業等が低下した。財別にみると、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、鉱工業用生産財、建設財が低下した。
- 3 在庫の前月比は0.4%の上昇、前年同月比は 8.5%の低下であった。業種別に前月比をみると、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、化学工業等が上昇し、輸送機械工業、鉱業、繊維工業等が低下した。財別にみると、鉱工業用生産財、その他用生産財等が上昇し、非耐久消費財、資本財が低下した。

消費者物価指数



消費者物価指数 (12年5月)

平成12年5月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で101.5(平成7年=100)となり、対前月比は(+ )0.2%上昇し、対前年同月比は(- )0.4%の下落となった。

今月の上がった主な項目...生地・糸類2.9%

シャツ・セーター類1.7%

今月の下がった主な項目...生鮮魚介(- )2.8%

生鮮野菜(- )5.1%

生鮮食品を除く総合は101.7となり、対前月比は(+ )0.3%上昇し、対前年同月比も(+ )0.1%の上昇となった。

費目別指数

(平成7年=100)

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.5	0.2	0.4	保健医療	111.5	0.2	0.6
食料	101.0	0.1	2.9	交通通信	97.5	0.1	0.8
住居	102.5	0.0	1.6	教育	109.1	0.0	0.7
光熱・水道	102.2	0.2	1.1	教養娯楽	99.2	1.1	0.7
家具・家事用品	94.1	0.0	2.2	諸雑費	102.6	0.1	0.1
被服及び履物	105.0	0.8	1.9	生鮮食品を除く総合	101.7	0.3	0.1